

心のノート

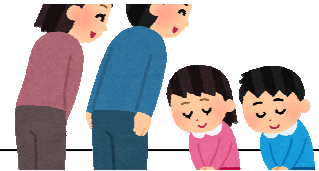
No. 3 2021年(令和3年)5月19日(水)



人を気持ちよく
させる方法って
たくさんあるけど、
挨拶ってその中
で一番大切なこと
だよ。ポイント
は、笑顔で挨拶
することだよ。

5月12日(水)の道徳は、『朝市のおはようございます』という教材をもとに学習しました。毎日の当たり前の中のひとつである「あいさつ」について、あまり深く考えることはなかったかもしれませんが、自分にとっての当たり前の基準が少し変わった人、さらにこんなあいさつをしていこう!という思いになった人が多かったようです。生徒会の取り組みの中でもあいさつ名人の選出がありました。こんなに深く考えることができる学年ならば、きっと全員があいさつ名人…いや、『あいさつ達人』間違いなし!ですね。

【生徒の学んだこと、印象に残ったこと、考えたこと、感想より】



*挨拶をすることで相手の様子がわかり、会話をするきっかけを作ることができるのであいさつはとても大事な行動だと道徳の授業で改めてわかりました。

なので、僕はこれからより挨拶を大切にしていこうと思いました。

*今日の道徳のテーマはあいさつについてで「挨拶はなぜ大切なのか」を考えました。はじめは元気になれたり、すっきりしたりするからと考えたけど最後は会った人とあいさつをすることでその人の存在を否定しなくてすむから大切だと考えました。

*僕は一人ひとりを人と見て、大人の暗黙のルール(子どもは自分からあいさつしない)をぶち壊して元気にあいさつしたいと思う。

*私はしっかり目を見てあいさつすることを心がけている。いつも運動場の工事をなさっている方々に毎日挨拶をしていたら、いつのまにか工事の方々に覚えられて少し仲良くなりました。

*僕は、あいさつのポイントとは心から大きな声であいさつをすることだと思います。理由は大きな声が挨拶と一緒にじゃないと思いが伝わらないし思いが伝わってこないからです。

* 友達の意見を聞いたなかにあったように相手と自分の心をつなぐ大切なコミュニケーションだからあいさつは大切だと思います。

* 挨拶は知らない人でもかかわりあえることができるものだと改めて思った。

* 自分が一人の人であるということを改めて気づかせてくれる大切なコミュニケーションのひとつだと思います。

